

FAIR TRADE STORY ...

— 生産者の村を訪ねて

バンコクからチェンマイまで飛行機で1時間強、そこからバスでくねった山道を南に約2時間行くと、ランブーン県リー郡の生産者の村へたどり着きます。カレンというタイからミャンマーにかけて居住する民族の村です。この村には2000家族以上が住み、農業を中心とし、仏教を主な信仰とする閑静な生活をしています。タイ語よりもカレン語の方が多く飛び交い、民族衣装を着た人も多くいます。

未婚の女性は白い服を着て、既婚の女性は赤などカラフルな色を纏うのが伝統的な装い。そうして見に纏う服はすべて手織りのものです。カレンの村では、至るところで地機織りと銀細工の素晴らしい技術に出会うことができます。シルバーアクセサリーはひとつひとつ手打ちして、丁寧に作られています。tibitのアクセサリーは97%と非常に純度の高いシルバーを使っています。

シルバーアクセサリーづくりは様々な環境の変化に影響を受けやすく、カレンの銀細工技術を守っていくためには、そうした環境にいかに対応していくかが大事です。村では、農業ではまかないきれない教育や医療などの費用を稼ぐため、バンコクや海外の建設労働に出稼ぎに出る人が増えています。そんな中、村にとどまり、農業を続けながらシルバーアクセサリーをつくることは、民族の伝統技術を継承にもなり、とても意義のある事のように思えます。1991年に発足したtibitの生産者グループのリーダー、エカチャイさんは日々職人として集う若者と知識や経験を共有しています。そこには、あたりまえの豊かな暮らしづくりと、みんなが夢に向かっていける環境づくりを目指し、共に成長していく姿があります。



カレンの民族衣装を身につけ、村人に人気の料理をつくる女性。



tibitを生産している村で、シルバーづくりができるのは、tibitの生産リーダー・エカチャイさんだけになってしまいました。エカチャイさんは、カレンのシルバー細工の伝統を若者に継承する役割も担っています。

— フェアトレードNGO Thai Craft (タイ・クラフト)

タイ・バンコクにある、「Thai Craft」は、タイ国内の生産者グループが作る手工芸品の輸出やタイ国内での販売を支援するNGOです。1992年に設立以来、タイ国内で約70もの生産者団体と関わり、洋服、アクセサリー、籠製品など何千もの手工芸品を扱ってきました。生産者団体は、tibitの生産グループを含む北部の山岳民族や、都心部のスラム、深南部の漁村の人々など、支援がなかなか行き届きにくいところを中心にしています。